

YMF G

アジアニュース

2023年12月

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、HD銀行(ベトナム・ホーチミン)



【香港駐在員事務所】

水産物輸入禁止の影響について

8月17日～21日の5日間、アジア最大級の食品見本市「美食博覧（フードエキスポ）」が開催され、日本からも多くの団体が参加しました。新型コロナウイルスの感染予防措置の撤廃後初めて飲食が解禁されたこともあり、48万人が来場し盛況のうちに終了しました。今回はその直後に始まった水産物輸入禁止の影響についてご紹介いたします。

香港政府は東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水海洋放出開始に伴い、8月24日から東京、福島、千葉、栃木、茨城、群馬、宮城、新潟、長野、埼玉の10都県を産地とする水産物の輸入を禁止しました。当初はさまざまな情報が飛び交っていましたが、現在は正しい理解が進み、多くの香港人から気にしていないという声が聞かれます。香港政府で食品安全を担当する環境・生態局の謝局長も地元メディアのインタビューに対して、自身はこれまで通りに日本料理や日本の水産物を食べていると語っています。日系回転寿司店でも行列ができており以前の状況に戻りつつあります。物流に関しては、水産物に対する放射性物質検査の強化により一部で通関に遅れが生じましたが、検査員の増員や検査体制の見直し等の対応がとられ、改善しています。物流会社からの情報では、梱包資材に輸入禁止エリアの住所が記載されていると検査員から指摘を受けることがありますが、本社があるのみで産地や加工地は該当していないことを証明できれば通関できています。最近の動きとして、日本から鮮魚を輸出する際に、東京ではなく大阪や福岡の空港を利用するケースが増えています。また、インバウンドへの影響も懸念されましたが大きな変化は見られず、香港からの訪日外客数は9月単月で15万人（2019年同月比▲3.1%）、1月～9月の累計で148万人となり、通年では200万人に迫る勢いです。

香港は日本の水産物の重要な輸出先（2022年実績：755億円、国・地域別2位）であり、今回の輸入禁止の影響が最小限に抑えられ、一日も早く撤廃されることが求められます。

山口フィナンシャルグループでは海外への事業展開にご興味があるお客様のサポートを行っていますので、お気軽にお取引店または営業戦略部法人事業室海外事業グループまでお問い合わせください。

（山口銀行香港駐在員事務所 山根 元博）

【参考文献】

- The Daily NNA 香港&華南版
フードエキスポ閉幕、48万人が来場（2023年8月23日）
日本の水産物、24日から禁輸 10都県産、検査結果を毎日公表（2023年8月23日）
日本の魚介「食べる」と高官 風評へ配慮か、地元メディアに（2023年9月5日）
- 日本政府観光局（JNTO）
<https://www.jnto.go.jp/jpn/>
- 農林水産省 2022年農林水産物・食品の輸出実績（国・地域別）
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/attach/pdf/zisseki-50.pdf